

社会資本整備審議会 道路分科会 平成 29 年度第 3 回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 29 年 10 月 25 日（水）10:00～11:30

2. 場 所

中国地方整備局 1 号館 5 階共用 1 号会議室

3. 出席者

＜委員＞

◎ ^{こいけ あつし}小池 淳司 神戸大学院 工学研究科 教授

^{うちやま せいいち}内山 誠一 中国経済連合会 専務理事

^{すずき はるな}鈴木 春菜 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

※敬称略 ◎は委員長代理

4. 議 題

（1）計画段階評価について

国道 1 8 8 号 ^{いわくに}岩国市（^{ふじゅう}藤生～^{ながの}長野付近）

5. 結論

- ・国道 1 8 8 号 岩国市（藤生～長野付近）の複数ルート帯（案）及び第 2 回意見聴取を行うことを了承する。
- ・なお、第 2 回意見聴取の質問内容については、住民の方に分かりやすくなるよう表現の仕方を工夫し見直すこと。
- ・全国一律のやり方で進めている計画段階評価の手続きについては、地域にあった進め方を検討する必要がある。

6. 委員からの主な意見

(評価項目について)

アンケート票の「配慮すべき意見」という表現は、それ以外の意見が配慮しなくて良い意見であるかのように誤解を招く恐れがあるため、表現を工夫すること。

(複数ルート帯)

通勤・通学などピーク時間帯で渋滞を解消させる施策は、道路整備以外にもあり、公共交通機関の利用促進を図るなど他分野との連携についても検討が必要である。

(意見徴収について)

道路利用者と地域に居住されている方の意見について重み付けする必要があるのではないか。

アンケート票に、バイパス案についてバイパスへの乗り入れや取付道路などの方針の説明を補足しておくことが必要。

第2回意見聴取の質問内容については、住民の方に分かりやすくなるよう表現を工夫し見直すこと。

アンケート結果のルート帯への反映方法については住民へ伝えるべき。

(計画段階評価について)

全国一律のやり方で進めている計画段階評価の手続きについては、地域にあった進め方を検討する必要がある。